

■第18号(2011)2012年3月発行

論文	澤井義次	心を澄ます—中山正善二代真柱の著作をふまえて—
	八木三郎	防災計画における要援護者の課題—天理市を事例に—
	森 洋明	異文化伝道における「ローカル化」の一例—コンゴブラザビル教会コーラス活動をとおして—
	佐藤孝則	社会主義体制が崩壊した頃の中東欧諸国の環境問題
	島田勝巳	『知ある無知』の争点とそのコンテクスト—ヴェンクとクザーヌスの論争をめぐる—
史料紹介	岡田正彦	龍津寺所蔵「須弥山器」について
研究報告会要旨	堀内みどり、大竹恵美子、金子昭、荒川善廣、上田喜彦、早田一郎、幡鎌一弘、中純子、八木三郎、井上昭洋、金子珠理	
活動内容	2011年1月～12	人事、日誌、出版、研究員活動報告

■第17号(2010)2011年3月発行

論文	辻井正和	おさしづにおける「理」と述語
	八木三郎	社会的養護における天理教里親の意義
	金子 昭	シュヴァイツァーの平和論—とくに反核思想の展開とその影響について—
	山本一・川波太・佐藤孝則	バイオマスの有効活用—生ごみと落葉を用いた堆肥化実験—
研究報告会要旨	森洋明、佐藤浩司・深川治道、堀内みどり、野口茂、八木三郎、佐藤孝則、辻井正和、小田木治太郎、深川治道、島田勝巳	
活動内容	2010年1月～12	人事、日誌、出版、研究員活動報告
史料紹介	安井幹夫	翻刻「宮森教正御断筆記」

■第16号(2009)2010年3月発行

論文	井上昭洋	「元初まりの話」の表象論:「元の理」文化研究の素描として
	辻井正和	おさしづにおける「理」のパタン分類と年次推移
	井上昭夫	「みかぐらうた」釈義批判 —「味わう」ことの身体性にふれて—
	金子珠理	育児不安の諸相と教祖論をめぐる母性主義の問題 — 臨床天理教学の構築に向けて—
	金子 昭	人間世界の中の慈悲濟世の展開 — グローバル化時代における菩薩ネットワーク—
	幡鎌一弘	巡礼札からみる西国巡礼の信仰形態 — 天井に打ちつけられた信仰心—
	佐藤浩司	大和舞「神の御国」について
研究報告会要旨	森洋明、堀内みどり、金子 昭・渡辺一城、辻井正和、佐藤浩司・堀内みどり・深川治道、BHATTE, Pallavi、芹澤知広、遠藤正彦、SUGANDHI, Aishwarya、佐藤孝則、松山常教	
活動内容	2009年1月～12	人事、日誌、出版、研究員活動報告

■ 第15号(2008)2009年3月発行

論文	辻井正和	おさしづにおける「理」の用法と多様性
	金子 昭	文化国家にいたるシュヴァイツァーの文化哲学の射程 — 初期草稿『われら垂流者たち — 文化と文化国家』をめぐる一考察—
	佐藤孝則	自然と文化が織りなす大和の風土的景観
研究報告会要旨	島田勝巳、野口 茂、堀内みどり、深川治道、金子 昭、井上昭洋、辻井正和、堀内みどり、井上昭夫、深川治道	
活動内容	2008年1月～12	人事、日誌、出版、研究員活動報告

■ 第14号(2007)2008年3月発行

論文	金子 昭	シュヴァイツァーの宗教哲学 — 遺稿『世界宗教における文化と倫理』を中心に—
	森 洋明	アンドレ・マツワの生涯と黒人メシア宗教の誕生
	深川治道	天理教の日本語教育史(7)— 華南の日本語学校について(その2) 広州天理日語学校と香港天理日語学校
	土井幸宏	みかぐらうた転写の現状と課題 — 特に長音の扱いについて—
研究報告会要旨	B. U. カルステン、佐藤孝則、辰巳智則、堀内みどり、佐藤浩司・堀内みどり・深川治道、井上昭夫、土井幸宏、佐藤浩司・堀内みどり・深川治道、佐藤孝則、矢持善和、井上昭夫、井手 勇	
活動内容	2007年1月～12	人事、日誌、出版、研究員活動報告
史料紹介	安井幹夫	翻刻「天理御話写」

■ 第13号(2006)2007年3月発行

論文	井上昭夫	宗教間対話と平和構築
	金子 昭	シュヴァイツァーの中国思想史研究の視座とその展開
	金子珠理	「男女共同参画社会」における家庭教育振興政策 — 「家庭教育学級」の現在
	辰巳智則	体育授業における運動に関する学習観と学習行動との関連
	深川治道	天理教の日本語教育史(6)— 華南の日本語学校について(その1) 天理厦門日語講習所—
研究報告会要旨	堀内みどり、辰巳智則、堀内みどり、佐藤浩司・堀内みどり・深川治道、井上昭夫、野口 茂、難波真理、森 洋明	
活動内容	2006年1月～12	人事、日誌、出版、研究員活動報告

■ 第12号(2005)2006年3月発行

第19回国際宗教学宗教史会議世界大会における報告特集	島田勝巳	クザーヌスにおける「宗教」の理念
	幡鎌一弘	徳川時代後期の神道と白川家
	堀内みどり	「みかぐらうた」の成立と天理教
	報告要旨	
論文	佐藤孝則・住原則也	ハワイから沖縄に贈られたココナツ1万個の知られざる真実
	辰巳智則	体育授業における能力的不適応状況のコーピングに関する研究 — 初等体育科教育への介入に向けた予備的検討—
研究報告会要旨	岸 義治、佐藤孝則、B. U. カルステン、佐藤浩司・堀内みどり・深川治道、辰巳智則、小滝 透、山田政信、岸 義治、佐藤浩司・深川治道、井上昭夫、石飛和彦	
活動内容	2005年1月～12	人事、日誌、出版物、研究員活動報告

■ 第11号(2004)2005年3月発行

論文	佐藤浩司	未来社会に向かう宗教の社会的役割
	井上昭夫	富士信仰と「五重相伝」の裏守護的解釈
	金子 昭	宗教社会福祉的観点から見た台湾・仏教慈済基金会
	森 洋明	言葉の「輸出入」—フランス語化した日本語の諸相—
講演録	アーシュラ・キン	ジェンダーと宗教研究
研究報告会要旨	岸 義治、森 洋明、アーシュラ・キング、中島秀夫、佐藤孝則、佐藤浩司・堀内みどり・深川治道、堀内みどり、野口 茂、岸 義治、武田加代子、成田道広、東馬場郁生	
活動内容	2004年1月～12	人事、日誌、出版物、研究員活動報告
史料紹介	幡鎌一弘	中山平八郎日記抄録

■ 第10号(2003)2004年3月発行

論文	岡田正彦	須弥山の行方 — 近代仏教の言説空間
	森 洋明	フランスのスカーフ問題
	辰巳智則	受傷アスリートの情緒的適応に関する一考察 — 90年代の理論的展開・研究動向を振り返って
研究報告会要旨	岸 義治、森 洋明、芹澤 茂、佐藤孝則、幡鎌一弘、堀内みどり、佐藤浩司、金子珠理	
活動内容	2003年1月～12	人事、日誌、出版物、研究員活動報告

■ 第9号(2002)2003年3月発行

論文	堀内みどり	ハヌマーン
	深川治道	天理教の日本語教育史(5) —華北における日本語学校について—
	辰巳智則	負傷競技者の傷害受容に関する研究 —アスレチック・リハビリテーション行動との関連から—
伝道研究会報告	金子 昭	台湾・財団法人仏教慈濟基金会による「志業」の展開 —平成14年度天理大学在外研究の報告—
研究報告会要旨	井上昭夫、津田真一郎、佐藤浩司／堀内みどり／深川治道、岸 義治、深川治道、佐藤孝則、ソーンツェフ・アナトーリ・ワジモビッチ、井上昭夫、辰巳智則、佐藤浩司／堀内みどり／深川治道、堀内みどり	
活動内容	2002年1月～12月	人事、日誌、出版物、天理スポーツ・ギャラリー展の開催、天理環境フォーラム2002—ガイアの未来を考える、シンポジウム「エコフェミニズムの可能性、ピオトープの造成と「アースバッグ・シェルター」の建設、シスター・メアリー・ジョン天理訪問、研究員活動報告

■ 第8号(2001)2002年3月発行

論文	井上昭夫	「環境観光」と「捨身飼虎」図 —天理大学「国際参加」の一視点—
	深川治道	天理教の日本語教育史(4) —北京における崇文教会の教育事業について—
	森 洋明	フランスに於ける移民の現状と問題点
史料紹介	幡鎌一弘	教理史研究の深化のために —「おさとし本」の意義とその紹介—
研究報告会要旨	辰巳智則、山下丈夫、芹澤 茂、大竹恵美子、幡鎌一弘、北詰洋一、恩田昌史、宮田 元、Ю.В. アルグジャーエヴァ、R. ギュンター、岡田正彦、森洋明	
活動内容	2001年1月～12月	人事、日誌、出版物、研究員活動報告

■ 第7号(2000)2001年3月発行

論文	井上昭夫	宇宙空間における意識変容 —神人一体化の世界へ—
	前田 均	住井すゑの歴史偽造 —特に中山みきに関する記述を始めとして—
	堀内みどり	インド映画の中のヒジュラ —V. D. バトナガールの報告から—
	金子珠理	FGS(female genital surgery: 女性性器手術)の語られ方における発話のポジション
	岡田正彦	創られた伝統としての「須弥界」 —近代的世界記述と「仏教」—
	深川治道	天理教の日本語教育史 —「天津天理日語塾」と「天津天理日華語学校」について—
研究報告会要旨	岸 義治、前田 均、大竹恵美子、幡鎌一弘、堀内みどり、金子珠理、森 洋明、野口 茂、阪本秀昭、深川治道	
活動内容	2000年1月～12月	人事、日誌、刊行物、研究員活動報告

■ 第6号(1999)2000年3月発行

論文	井上昭夫	「グローバリゼーション」と「元の理」
	芹澤 茂	現代社会と人間—心の教理—
	岡田正彦	震撼する世界 —19世紀の日本における世界記述をめぐる言説—
	深川治道	天理教の日本語教育史 —「山西天理日語学校」について(その2)—
研究報告会要旨	堀内みどり、芹澤 茂、澤井義則、澤井義次、井上昭夫、松田健三郎、佐藤浩司、佐藤浩司・堀内みどり、岡田正彦、佐藤孝則、深川治道	
活動内容	1999年1月～12	人事、日誌、刊行物、研究員活動報告

■ 第5号(1998)1999年3月発行

宗教研究会報告	岡田正彦	ヘイデン・ホワイトの歴史の詩学と宗教研究—物語の理論と宗教学—
論文	前田 均	中村地平の『教会の人達』の天理教観
	植田平一	ひながたについて—一つの考え方
	深川治道	天理教の日本語教育史—「山西天理日語学校」について(その1)—
研究報告会要旨	笹田勝之、佐藤孝則、幡鎌一弘、前田均、植田平一、岡田正彦、橋本武人、辻井正和、岸義治、佐藤孝則、深川治道	
活動内容	1998年1月～12	人事、日誌、刊行物、研究員活動報告

■ 第4号(1997)1998年3月発行

伝道研究会報告	上田嘉太郎	布教伝道と「翻訳」
	澤井義次	戦後10年間の布教伝道(上)—とくに終戦から教典公刊の時期まで—
論文	東馬場郁生	「キリシタン時代」研究の方法論的問題—キリシタン信徒の進行と実践—
	森下三郎	再帰的視点からの「てをどり」解釈
研究報告会要旨	堀内みどり、東馬場郁生、中純子、森下三郎、岸義治、深川治道	
活動内容	1997年1月～12	人事、日誌、刊行物、研究員活動報告

■ 第3号(1996)1997年3月発行

伝道研究会報告	佐藤孝則	環境問題と天理教(1)—教内発行雑誌に掲載された環境問題—
	佐藤孝則	環境問題と天理教(2)—教理からみた環境破壊—
	辻井正和	「神の身体」をめぐって
宗教研究会報告	芹澤 茂	宗教の理解—十柱の神をめぐって—
1996年度教学公開講座のまとめ		
活動内容	1996年1月～12	人事、日誌、刊行物、研究員活動報告、記録
「日韓宗教研究者交流シンポジウム」論文集	安丸良夫	民衆宗教と近代という経験
	内藤辰郎	19世紀後半の儒学思想—国民道徳の成立と儒学
	幡鎌一弘	明治期における社会と天理教
	島菌 進	「生存競争」と民衆的宗教運動—1930年前後の日本における普遍主義と超越—
	柳 炳徳	韓国新宗教の実相とその研究現況
	金 吉洛	韓国儒学の近代的変貌—開化期の朴殷植の近代精神—
	魯 権用	韓国近代仏教の改革理念
	李 正培	韓国キリスト教の受容形態および土着化論—監理教を中心に—

■ 第2号(1995)1996年3月発行

伝道研究会報告	澤井義則	修養科生活をふりかえって—布教伝道の視点から—
	堀内みどり	「救い」と布教伝道
	佐藤孝則	ドイツ社会の環境問題への取り組み—視察内容からみた環境教育と環境保全活動の現状—
		シリーズ公開講座のまとめ
活動内容	1995年1月～12	人事、日誌、刊行物、研究員活動報告
史料	幡鎌一弘編	宗教・開化政策に関する奈良県法令(明治五年～九年)

■ 第1号(1994)1995年3月発行

	植田平一	発刊にあたって
伝道研究会報告	芹澤 茂	おふでさきにみる布教伝道
	佐藤浩司	天理教伝道の理念試論
	澤井義則	教務統計にみる教勢の推移
	澤井義次	現代日本社会における宗教状況
	辻井正和	天理教の教勢100年—統計数字から客観的にみる—
	幡鎌一弘	天理教伝道の社会的環境—教団組織論とのかかわりで—
	佐藤浩司	教会の実態—教会探訪から—
活動内容	1994年1月～12	人事、日誌、刊行物、研究員活動報告
丸川仁夫元主任追悼記事		